

# コレクション展 2022-夏秋

特集：1960s-1980s 関西の現代美術「再見」

2022年7月16日（土）- 9月25日（日）



1. 森村泰昌《だぶらかし肖像C》1988年 写真 和歌山県立近代美術館蔵

## プレス向け解説会のご案内 2022年7月15日(金)13:30から

プレス関係者を対象に解説会を実施いたします。ぜひ、この機会に取材していただき、魅力を発信してくださいませようお願いします。

### お問い合わせ先

和歌山県立近代美術館  
学芸担当：藤本真名美  
広報担当：村井

〒640-8137 和歌山県和歌山市吹上1-4-14  
TEL: 073-436-8690 FAX: 073-436-1337  
E-MAIL: [press@momaw.jp](mailto:press@momaw.jp) WEB: <https://www.momaw.jp>

## コレクション展 2022-夏秋

特集：1960s-1980s 関西の現代美術「再見」

2022年7月16日（土）-9月25日（日）

1963年に和歌山城内で開館した和歌山県立美術館を前身とする当館は、日本で5番目となる国公立の近代美術館として、1970年11月、県民文化会館の1階に開館しました。そこで23年あまり活動したのち1994年に現在の建物へと移転し、展示収蔵環境を拡充させミュージアムとしての活動を続けています。和歌山ゆかりの作家についての展覧会と収集を中心に、現在はその範囲を国外にまで広げ、日本画、洋画、彫刻、版画など、総数1万点を超える作品を収蔵するに至っています。

コレクション展では、所蔵品を通じて幅広い美術の表現に接していただけるよう、季節ごとに展示を替え、さまざまな特集コーナーを設けながら作品の紹介を続けています。今回の特集では、和歌山県立近代美術館が開館した1970年前後に制作され、当館に結集したコレクションで、その現代美術の現場を「再見」します。

1960年から1980年代にかけて、京都や兵庫、そして和歌山をはじめとする関西の「近代美術館」で、数多くの現代美術展が開かれました。これらの展覧会に出品された作品群は、当時の果敢な美術家たちによって生み出され、従来の表現の枠を超える新たな地平を切り開くものでした。しかしここには、すでに戦前から「前衛」活動を展開していた作家たちが加わっていたことも見逃せません。

また、同時代美術は、その宿命として、当時まだ理解されることもなく、今日ほど評価されていたわけではありません。若い作家たちが競うように出品していた美術館の展覧会会場も来館者は少なく、批判を超えなければならない時代でもあったのです。

それから半世紀近くを経て、ようやくかつての作品が生み出された時代が再考できるようになりました。和歌山県立近代美術館は、1983年から「関西の美術家シリーズ」展を開催し、関西の最前線の動向を紹介して、いち早くこれらの作家たちの作品収集にも着手していたのです。そこで今回の特集展示では、「1. 戦前の『前衛』からの持続」「2. 『近代美術館』の誕生と『現代美術』の動向」「3. 1970年代の新たな展開」「4. 1980年代への持続」の4章構成で「再見」とともに、当館所蔵の戦前の「前衛」作品もあわせて紹介します。

### 開催概要

主催	和歌山県立近代美術館
会場	和歌山県立近代美術館 1階展示室
会期	2022年7月16日（土）-9月25日（日）
開館時間	9時30分-17時（入場は16時30分まで）
休館日	月曜日（ただし、7月18日、9月19日は開館し7月19日、9月20日休館）
観覧料	一般350(270)円、大学生240(180)円（）内は20名以上の団体料金 *高校生以下、65歳以上、障害者、県内に在学中の外国人留学生は無料 *7月23日、8月27日、9月24日（毎月第4土曜日）は「紀陽文化財団の日」として大学生無料 *8月7日、9月4日（毎月第1日曜日）は全館無料

## 関連事業

新型コロナウイルス感染拡大防止のため、内容の変更、事業の中止を行う場合があります。  
変更があった場合は、美術館のウェブサイトでお知らせします。

### ▶フロアレクチャー（館長による展示解説）

日時：7月23日（土）、8月11日（木・祝）

各日 14時から1時間程度、1階展示室にて ＊要観覧券

### ▶こども美術館部（小学生を対象とした作品鑑賞会）

テーマ「ふたたびたびたび」

日時：9月10日（土）、9月11日（日）

各日 11時から1時間程度 ＊当館ウェブサイトより事前申込。定員6名程度。

## 主な出品作品

掲載用画像については広報担当にお問合わせください。

＊すべて当館蔵です。 ＊文字のせ、トリミング等はお遠慮ください。



2. 古賀春江《海水浴》1922年 油彩、キャンバス



3. 川口軌外《ボヘミアン》1928年 油彩、キャンバス



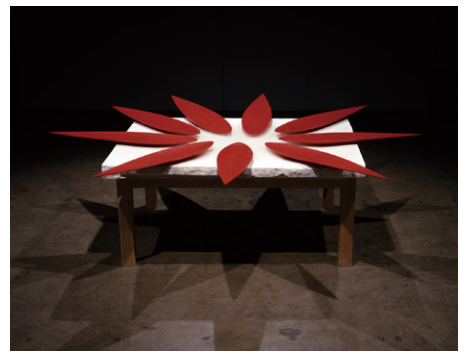
4. 木村光佑《OUT OF TIME - 24》1970年 リトグラフ、紙・シルクスクリーン、アクリル



5. 白髪一雄《作品》1972年 油彩、キャンバス



6. 元永定正《無題》1972年 アクリル絵具、キャンバス



7. 小清水漸《花・赤い》1986年 木、水銀朱、水、白大理石

## 同時期に開催の展覧会

### ▶なつやすみの美術館 12

妻木良三「はじまりの風景」

会期：7月5日（火）-9月4日（日）

### ▶特別展 稗田一穂展

会期：9月10日（土）-11月6日（日）

### ▶【県立博物館（とたり）の展覧会】

夏休み子ども向け企画展「地名のなぞ!?!」

会期：7月16日（土）-8月21日（日）

企画展「あの人からの手紙」

会期：8月27日（土）-10月2日（日）